

# センターだより

## 第6号

平成27(2015)年11月11日発行  
吹田市立教育センター  
大阪府吹田市出口町2-1  
TEL 06-6388-1455  
FAX 06-6337-5412  
メール [s-educ@suita.ed.jp](mailto:s-educ@suita.ed.jp)

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

## 吹田市適応指導教室紹介

このところ「文部科学大臣が教育委員会などが不登校の子どもの指導のために設置する教育支援センター（適応指導教室）について、『一定規模以上の市区町村に最低一つ』という目安を示す」などの報道があり、適応指導教室への関心が高まっています。本市には適応指導教室と呼ばれる教室があります。「適応指導教室」と言われてピンとこなくても「光の森」「学びの森」と聞けば「それなら知っている」という方も多いのではないのでしょうか。今号では適応指導教室をQ&Aの形で紹介したいと思います。

Q1 適応指導教室ってどこにあるの？

A1 「光の森」は北千里の千里北公園の中にある「自然体験交流センター」の旧事務所棟にあります。公園内ということで豊かな自然に囲まれて活動しています。「学びの森」は南千里にある「竹見台多目的施設」の2階にあります。この施設は元南竹見台小学校で、学校の雰囲気を感じながら活動しています。

Q2 適応指導教室ってどんなことをしているのですか？

A2 「光の森」では小集団での体験活動を中心に、「学びの森」では個別の関わりを中心に、フレンドさんをはじめとする周りの人とのコミュニケーションを通して、人間関係作りを学びます。人との関わりの中から、自分を見つめ直したり、人間関係作りで自信をつけたりすることで、「また学校へ行ってみようかなあ」という気持ちになってもらうことを目標に活動しています。

Q3 適応指導教室のスタッフってどんな人たち？

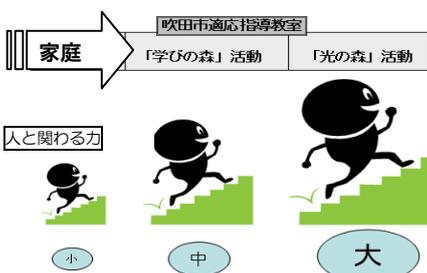
A3 「光の森」「学びの森」それぞれに「支援員」という元学校の先生がいます。「学びの森」には学習指導員というスタッフもいます。そしてなんといっても活動の主力になっているのが子どもたちに寄り添い支援する「フレンド」と呼ばれるボランティア。特に大学生のフレンドは児童・生徒たちとも年齢が近いために、子どもたちにとって頼れるお兄さん、お姉さん達です。他にも退職された先生のフレンドさんもいます。最近はフレンドが少ないのが悩み。知り合いの方でフレンドをしてくださる方がいたらぜひご紹介ください。また、毎日、教育相談員（臨床心理士）が常駐し、子ども達の心の揺れに対応したり、継続的に保護者と面談をしたりしています。

Q4 適応指導教室の目的ってなに？

A4 不登校の状態にある子どもは様々な要因で心が傷ついた状態にあります。そんな子ども達が、「光の森」や「学びの森」の活動を通して徐々に自信を回復し、周りの人への信頼感や社会性を身につけていきます。そして、家庭・学校と連携しながら、本人の心の状態と時期を見て部分登校にチャレンジしていきます。適応指導教室は単なる居場所ではなく、学校復帰の準備をする場所です。

Q5 適応指導教室を勧めたい子がいるのですが・・・

A5 適応指導教室につないでもらう前に、特に以下の点について本人・保護者とよく話し合ってみてください。



### ①本人に「行ってみようかなあ・・・」という気持ちがあるかどうか

保護者や周りの思いが先行している場合、入室の準備は整っても本人が登室できず、かえって自信をなくしてしまう場合があります。本人の思いを充分受け止めていただき、ほど良いタイミングでつなぐことが大切です。

### ②適応指導教室で本人ができそうなこと

「光の森」「学びの森」のどちらかを体験してもらうかは、最終的には教育センターの会議で判断しますが、学校訪問させていただいた時に学校からいただく情報が

## 光の森



## 学びの森



判断の大きなポイントとなります。特に、本人が得意なことや、好きなこと、人と関わりを持つための糸口になりそうなことなど、「できそうなこと」を教えて頂けると、より本人が適応しやすい形での体験をお勧めすることができます。

### ③学校とのつながり方

適応指導教室は、学校の代わりに行く所ではありません。あくまでも「学校復帰」が目標です。適応指導教室へ入室してからも、担任の先生との連絡の取り方や、学校行事への参加、テストの受け方、または本人が SC への相談をしている場合はその継続についてなど、よく話し合ってもらい、本人が少しでも学校と関われるチャンスを大切にしてください。

### ④手続きについて

保護者・本人の思いと、学校の意向が定まったら、校長先生から教育センターへ連絡をいただいた後、保護者からの入室申込書と学校からの入室依頼書を提出してください。

Q6 不登校の子どもへの対応の仕方は・・・？

A6 休みが続いている日数を目安に、以下を参考に対応してみてください。

個別に状況は違うと思いますが、本人・保護者、個々の思いを丁寧に聞き取ることが一番大切です。

## 3日までに

#### ①休みの原因を探る

ひとつに決め付けず、友だち関係？勉強？部活？家庭？などいろいろな角度から情報収集する

#### ②本人・保護者の思いを聞く

本人にも原因がわからない場合もあるので、寄り添う姿勢が効果的。傾聴を心掛けましょう

#### ③学年の先生、養護教諭、出張教育相談員、SC、SSW など多方面からの見立てが重要

## 1週間程度

#### ①学校からのお知らせや授業プリントはこまめに渡すようにする

#### ②別室登校や保健室登校も視野に入れ、各校で可能な受入体制を考える

#### ③保護者の不安を受け止める

#### ④保護者・本人と一緒に今「できること」を考える

## 月に数回登校

#### ①身体症状や、学校・教師への拒否感があるうちは「あなたを思っているよ」というメッセージを送り続ける（手紙・電話・家庭訪問など）

#### ②本人の気持ち安定し、家庭との連携がとれてきたら、緩やかに登校刺激を試みる（タイミングは保護者ともよく相談。また、スモールステップでの対応を）

#### ③専門機関との連携

《心理面》出張相談・SC・教育センターの教育相談など

《医療》保護者の同意を得て必要に応じて診療内科・医療センター等との情報共有

《福祉》家庭環境調整も必要な場合 SSW・子家セン・福祉関係機関など

## 全欠席状態

#### ①本人への支援

家庭訪問・手紙など

学校からのプリント・授業プリント・ノートなどを届ける

行事や、テストに関わることは特によく保護者とも話し合ってください

特に中学3年生は進路についての情報を丁寧に伝え、学校に相談しやすい関係作りをしましょう

#### ②保護者との関係作り

保護者の思いは否定せず、子どもにとって、何が一番よいのかを一緒に考えていく姿勢

#### ③外部機関との連携

「ヒマ」という言葉は外への興味の合図。SC・教育相談への本人相談・校内適応指導教室・吹田市適応指導教室などへの登室も視野に入れて考えてみる

※一般的な対応について書かせていただきましたが、各ケースの背景によって対応は変わってきます。判断に迷うケースにつきましては、校内の会議等でも充分ご検討いただき、必要であれば教育センターにもご相談ください。

## 平成27年度授業づくり研修「スーパーティーチャーに学ぶ②」

### 「確かな言葉の力を育む国語の授業づくり」

講師 筑波大学附属小学校教諭 二瓶 弘行 先生

～10月14日（水） 吹田市立千里第二小学校～



★研修報告★

学研国語部との共催で授業づくり研修「スーパーティーチャーに学ぶ②（国語）」を実施しました。150名を超える先生方にご参加いただきました。筑波大学附属小学校教諭の二瓶 弘行先生を講師にお招きして、6年生「詩」の公開授業及び講演をしていただきました。

児童に言葉のまとまり・繰り返しなど連ごとの共通項に気づかせ、考えを共有化し、読みを深化させる指示・発問から多くのことを学ばせていただきました。



「子どもたちに力をつけさせてあげたい。」という熱意を強く感じる講演会に参加者も引き寄せられながら、すぐ実践に活かせる指導の手立てを学びました。

## 平成27年度授業づくり研修「スーパーティーチャーに学ぶ③」

### 「自尊感情を高める道徳の授業づくり」

講師 宮城教育大学 名誉教授 相澤 秀夫 先生

～11月5日（木） 吹田市立高野台中学校～



「スーパーティーチャーに学ぶ」第3回目は、宮城教育大学名誉教授相澤秀夫先生をお招きし、中学校1年生の道徳公開授業と講演会を行いました。道徳の教科化に向けて各校さまざまな取組をされていることと思いますが相澤先生の授業では、意図的な指名によって、子ども達の考えが教室内で共有され、教師がファシリテーターとなって考えをつなぎあいながら授業が展開されます。その中で子どもたちがどんどん教材の世界に引き込まれ、一人ひとりの考えを深めていく様子は、まさに「学びひたる」という先生の言葉そのものでした。講演会でも、「学ぶ」とは「変わる」こと。教師が子ども達の学びによる成長を驚きの心を持って見取り、具体的に認め、励ます言葉かけをすることで、個の可能性を引き出し育てる授業につながる、というお話に参加者が引き込まれていきました。一人ひとりの考えを大切にされた道徳の授業について原点に戻って考え直すことができ、充実した研修でした。

#### 【感想】

- ・教員としての心得、一人ひとりを大切にするための具体的な手立てを見える形で伝えて下さったのが良かったです。道徳の授業づくり、というイメージで参加しましたが、別の成果も得られました。
- ・とても心打たれる研修でした。自分の明日からの生きる力になりました。
- ・先生と子どもたちの信頼関係を深める様子がよく伝わりました。
- ・授業に子どもたちに、まるでマジックをかけたかのような様子でビックリしました。先生の空気に引き込まれていく子どもたちのみならず、見ている私も入り込んでしまいました。

幼稚園・小学校教育研修会 「吹田市立幼児教育研修会」（こども部こども育成室保育幼稚園課）と共催

## （仮）就学前に育てたい力と小学校への接続

研修 PICK UP

○日 時 平成27年12月8日(火) 15:10～17:00 (受付14:50～)

○会 場 千里市民センター 2階大ホール (千里ニュータウンプラザ内) 阪急南千里駅下車すぐ

○講 師 沖本 和子 先生 (大阪多様性教育ネットワーク 共同代表)

講師の先生から就学期に育てたいことについて、具体的な手立てを学んだり、グループワークで保育園や幼稚園から小学校へのなめらかな接続について話し合ったりする場を設け、互いの保育・教育で大切にすることを確認できたらと考えています。

11月27日（金）までに研修申込システムにて  
【129】で申込みください。



# 11～12月の教職員研修予定



講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象
初任者研修	初任者研修 フレッシュ 研修	40 「初任者による代表授業」(中学校) 授業者 片山中学校 教諭 上村 樹	片山中学校	11月19日(木) 13:30～17:00	中学校初任者教員 中学校新規任用講師
		38 「初任者による代表授業」(小学校火曜班) 授業者 吹田第二小学校 教諭 大日野 菜々子	吹田第二小学校	11月24日(火) 13:45～17:00	小学校初任者教員(火曜班) 小学校新規任用講師
		39 「初任者による代表授業」(小学校木曜班) 授業者 片山小学校 教諭 後藤 聖也	片山小学校	11月26日(木) 13:45～17:00	小学校初任者教員(木曜班) 小学校新規任用講師
ステップアップ研修	ステップアップ 研修Ⅱ	65 ステップアップⅡ選択研修 支援学級センター校について学ぶ「肢体不自由学級」 講師 高野台小学校 教諭 磯崎 淳子	高野台小学校	11月12日(木) 14:00～16:30	ステップアップ研修Ⅱ受講者で 選択した者
		63 ステップアップⅡ選択研修 吹田市適応指導教室「光の森」について学ぶ 講師 教育センター 不登校児童生徒支援員 築谷 康夫 教育センター 研究員 小林 優	自然体験交流センター	11月13日(金) 13:45～17:00	
		62 「ステップアップⅡ小学校代表研究授業」 授業者 山田第二小学校 教諭 上西 明里	山田第二小学校	12月10日(木) 14:30～17:00	
		64 ステップアップⅡ選択研修 日本語適応指導教室「さくら広場」について学ぶ 講師 「さくら広場」スタッフほか	竹見台中学校	12月9日(水) 15:15～17:00	
10年経験者研修	82 「10年経験者による代表研究授業」 授業者 豊津第一小学校 教諭 松井 篤志 指導助言 吹田市教育委員会 指導主事 金築 未奈子	豊津第一小学校	11月13日(金) 14:35～17:00	小学校10年経験者研修教員	
スクールリーダー研修	76 「コーチング ～リーダーのあり方について～」 講師 C's G Mission コミュニケーショントレーナー 瀬戸口 千佳さん	教育センター 研修室	11月30日(月) 15:00～17:00	主幹・主査	
教育課題別研修	新教育課程	92 「アクティブ・ラーニング」 講師 大阪教育大学 教授 木原 俊行 先生	教育センター 研修室	11月16日(月) 15:30～17:00	教職員 ※教育課程推進担当者会を兼ねる
		131 「姫路市の小中一貫教育の取組みに学ぶ」 講師 姫路市教育委員会 学校指導課 指導主事 鎌田 隆志	教育センター 視聴覚室	11月26日(木) 15:45～17:00	教職員 ※小中一貫教育代表者会を兼ねる
	人権教育	101 「セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメントの防止について」 講師 吹田市教育委員会 指導主事 佐藤 弘宜	教育センター 視聴覚室	11月17日(火) 15:45～17:00	教職員 ※人権教育担当者会を兼ねる
	英語教育	106 英語・外国語活動「公開授業・研究会」 講師 成蹊大学 副学長 國方 太司 先生	千里みらい夢学園 千里たけみ小学校	11月25日(水) 13:30～17:00	教職員 ※小・中学校外国語(英語)科担当者会 を兼ねる
	授業づくり 研修	113 スーパーティーチャーに学ぶ④ 「国語授業におけるユニバーサルデザイン」 講師 関西学院 初等部 教諭 野村 真一 先生	南山田小学校 体育館	12月1日(火) 14:15～17:00	教職員 ※特別支援教育Co研修選択⑨ を兼ねる
117 観察・実験研修「理科の研究授業」—小中連携を意識して②— 授業者 千里みらい夢学園 竹見台中学校 教諭 三浦 幸紀	竹見台中学校	12月3日(木) 14:30～17:00	教職員 ※小中連携のための観察・実験研修の 第6回と兼ねる		
専門職研修	128 「保健室での執務を便利にするためのアイデア集合」 講師 吹田市内 指導養護教諭 4名 吹田東小学校 小木 小百合 佐井寺小学校 賛 宏恵 豊津第二小学校 瀬崎 浩美 南千里中学校 坪倉 光恵	教育センター 視聴覚室	12月14日(月) 15:30～17:00	養護教諭・養護助教諭	
幼稚園・小学校研修	129 「(仮)就学前に育てたい力と小学校への接続」 講師 大阪多様性教育ネットワーク 共同代表 沖本 和子 先生	千里市民センター 2階 大ホール	12月8日(火) 15:10～17:00	吹田市立幼稚園・小学校職員 ※こども部こども育成室保育幼稚園課 吹田市立幼児教育研修会と兼ねる	
情報教育研修	課題・専門	351 「SATSUKIネットLAN接続とセキュリティー」 講師 日立ソリューションズ・クリエイト	教育センター 情報科学室	11月27日(金) 15:30～17:00	教職員
	授業活用	318 「ジャストスマイル活用講習」 講師 ジャストシステム インストラクター ※「ジャストスマイル」は小学校のPCでのみ使用できるソフトです 「発表名人」等児童がプレゼンに活用できる機能を中心に研修を行います	教育センター 情報科学室	12月25日(金) 10:00～12:00	教職員

※各講座の詳細は、各学校ごとに送付する実施要項をご覧ください。

11月のさつきらるーむ(初任者教員等相談室)は、  
11月10日(火)、12日(木)です。  
申し込みは、教育センターまで(メールまたは研修申込にて)